

◇ 富士市集約・連携型都市づくり推進戦略の位置付けについて

推進戦略は、都市計画マスタープランの“具現化版”として、都市計画マスタープランで掲げる「集約・連携型の都市づくり」を実現するため、都市づくりの具体的な手法などを示しています。

以下に、推進戦略と都市計画マスタープランとの関係性を示します。

上位計画(総合計画など)

即ち

都市計画マスタープラン

★市の都市計画を進めていく上で、その方向性を示した計画です。

都市計画マスタープランでは、目指すべき都市像を実現するために、居住、移動、安全、交流、産業、環境の6つの視点により都市づくりの目標を示すとともに、「集約・連携型の都市づくり」を実現するための取組の方向性を示しています。



具現化版

集約・連携型都市づくり推進戦略

★推進戦略は、都市づくりの具体的な手法などを示した計画です。

市街化区域における土地利用計画の制度である“立地適正化計画”と市街化調整区域における土地利用計画の方針である“市街化調整区域における土地利用方針”の2本立てで構成しています。



立地適正化計画

都市をどのようにコンパクトにしていくのかを定めた計画です。

■ 都市機能誘導区域

…生活サービス施設を誘導するエリアを設定

■ 居住誘導区域

…居住を誘導し、人口密度を確保するエリアを設定

★ 都市機能誘導施設

…病院や金融機関などの誘導する施設を設定 etc



市街化調整区域の土地利用方針

市街化調整区域における土地利用の考え方やその手法を示したものです。